

PEARLS 医療者教育 デブリーフィング ツール

	目指すこと	すべきこと	サンプルフレーズ
1 デブリーフィングの場面設定	学習のための安心・安全な環境設定	デブリーフィングの目的を述べる; 基本的な前提条件をはっきりと伝える	「これからX分間のデブリーフィングをしましょう。私達の目的は現場でのチーム連携や患者ケアを向上させることです。」 「皆さんは更なる向上を望んで参加されていると思います。」
2 学習者の反応	学習者が感じていることを探る	直後の反応や感情を引き出す	「どうでしたか?」 「どのような感じですか?」
3 イベントの確認と共有	何が起こったかを明らかにする	ケースの共通理解を構築する	「このケースの簡潔なまとめを共有してもらえますか?」 「このケースの今の時点での診断/問題点は何でしたか? 皆さん同じ意見ですか?」
4 分析	パフォーマンスドメインに沿って分析する	(詳細は裏面を参照)	導入のひとこと (新たなトピックに移る時に使用) 「ここでは~(新たなトピック)についてしばらく話しましょう。理由は~(根拠)だからです。」 小まとめ (ひとつのトピックについてのディスカッションをまとめる時に使用) 「良いディスカッションでしたね。~(改善が必要な点: performance gap) について、何か追加のコメントはありますか?」
まだ触れていない事項/気になることはあるか?			
5 現場への適用とまとめ	学習ポイントの確認	学習者中心のまとめ ----- 指導者中心のまとめ	「今回の議論から学んだ、日常診療に生かせるポイントは何ですか?」 「このケースでの重要な学習ポイントは~(学習の要点)でした。」

*Basic assumption, Copyright © Center for Medical Simulation. Used with permission.

分析

パフォーマンスドメイン

分析段階では、さまざまなパフォーマンスドメインを掘り下げることができる。



意思決定



テクニカルスキル



コミュニケーション



医療資源の活用



リーダーシップ



状況認識



チームワーク

3つのアプローチ

1 セルフアセスメント

学習者に自分たちのパフォーマンスを評価してもらい、省察を促す


2 焦点を絞ったファシリテーション


パフォーマンスの鍵となる部分を掘り下げる


3 情報提供


明らかになった知識のギャップを埋めるように指導し、必要があれば直接的フィードバックを行う


サンプルフレーズ

 どこがうまく出来ましたか?それはどうしてですか?

 次はどこを変えたいですか?それはどうしてですか?

 **Advocacy** : 支持的な態度で客観的事実を提示
～(観察した行動)をみて、～(ファシリテーターの見解)と思います。

 **Inquiry** : 学習者の行動の枠組みを明らかにする問い
それについてどう思いますか? その時どう考えていましたか?

 私は～(学習者の行動)に気づきました。次回は～(望ましい行動)を考えてみてはどうでしょうか? 理由は～(根拠)だからです。